ベトナム人材活用実績と課題

２０２２年１１月１１日（金）
ＫＩＡＣ 第５回イノベーションセミナー

株式会社 大福鉄工所
代表取締役　大福 豊

① 会社案内

企業名：株式会社 大福鉄工所

代表者：代表取締役　大福　豊（おおふく ゆたか）

住　　所：大阪市淀川区三津屋３丁目１０番１９号

創業年：１９４８年（昭和２３年）１１月（創業７４年）

資本金：１,０００万円

年　　商：１億５,０００万円（利益約１０％）

従業員：１５名

連絡先：☏ 06-6301-6687　Eメール：y.ofuku@icloud.com

業　種：大型機械部品製造　製缶　溶接

（製缶機械加工加工がメイン）

材料支給：４０%、購入材料６０%の比率

取引先：（主要）クボタ、OKK、コベルコ科研

三井造船P&Wシステムズ、日本スピンドル

その他：ＩＳＯ９００１：2015認証取得

ＵＲＬ：http://ofuku-iron.com

株式会社 大福鉄工所

http://ofuku-iron.com/

② 経営理念

「一貫生産でニーズの多様化に満足と信頼をお客様に与える」

弊社は部品加工メーカーとして６０年以上の歴史があり、培われてきたノウハウが多数ある。
中でも加工が難しいと言われる耐熱鋼の加工も対応可能。
更に、社員への技術スキルをより高めるためＯＪＴや積極的に国家試験の受験を奨めている。
ご依頼頂いたものは、製品として完成したものをお届けしている。
携わってきたものは全て世の中に役立つ製品であると確信している。
これからも基礎産業という分野を極めていきたいと考えている。

（株）大福鉄工所　代表取締役　大福　豊

③ 品質方針・スローガン

品質方針

１．お客様のご要望に対する単価及納期を満たす製品を作る

２．お客様のご満足度向上の為に技術を磨く

３．高度な加工技術によって高品質な物をつくる

４．ＱＭＳに適合した製品と友好的継続性の改善を行う

スローガン

社員一丸の決意

顧客の要求事項に適切に対応し満足度を高め、

信頼を得ることで会社に貢献すると考える

④ 事業内容

先代社長が戦後戦地から戻ってきて、プレーナという機械を1台、中古で購入。土地を三津屋（創業地）に購入して工場建設して創業。

大型の製缶品、大型の機械部品を製缶し大型の工作機械で加工。

- 関西空港のウイングの支えている支柱部品
- 明石大橋のケーブルを引っ張っているベース
- 舞台装置の緞帳やLEDをを上げ下ろしするドラム
- 産業機械のフレームや電車のブレーキカバーや空気ばねカバー

- ごみ処理場の攪拌機の軸受け破砕機部品
- 橋脚、建築金物や水道管ジョイント部品
- 製鉄所や石油プラント関連の耐熱鋼の加工など基礎関連（インフラ関連）など
- 多種多様産業品の単品大型部品を扱っている。

⑤ 人材不足

１９９０年代になると当社も高齢の従業員が辞め始め、人材不足の状態になってきた。工場が忙しくなると私も遅くまで機械を使って仕事していたがどんどんひどい状態になってきた。

あまりにも忙しい状態になってきたのでその当時、職安（現、ハローワーク）やリクルートなどに求人を出したが、決してきれいな仕事といえず、中小企業の小さな町工場なので反応もなく、来ても半日で「私にはできません。」と言って全く人材採用ができない日々が続いていた。

⑥ ベトナム人研修生

１９９８年一通のメールが来た。そこには「ベトナム人研修生をどうですか？」という内容だった。それで研修生を受け入れている工場に見学に行くと生き生きと働いているのを見た。
これだと思い研修生を受け入れることに決めてベトナムに面接に行った。そして２名の研修生を採用した。日本語などの研修を半年したのちに入国して当社で働くことになった。

研修生なので、工場の３階を研修生用の住居として改装し、お米や日用品を買い日本語の教科書も与えて教えた。一生懸命働いてくれたのですごく助かり、機械の操作もすぐに覚え、日本語も日常会話程度は話せるなって来た。

⑦ ベトナム人雇用

- ２年が過ぎ、後１年でベトナムに帰ってしまうのでどうしたらいいかと思っていたら、その研修生の紹介会社から「就労ビザでしたら３年のくくりがありません。」と言われ就労ビザで受け入れることを決めた。

- 余談ですが、３年の研修を終わりベトナムに帰った研修生のその後を知りたくてベトナムに行ったが３年間働いたお金で３階建てのタイル張りの住居建てていた。

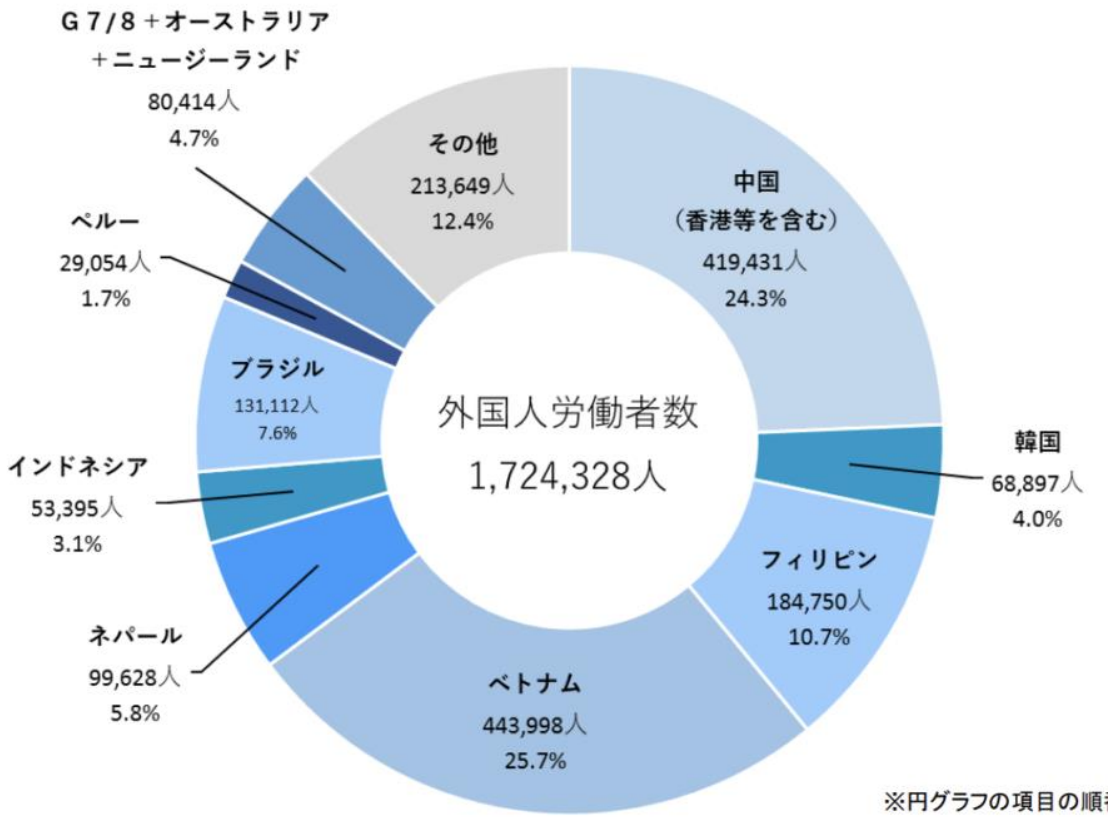
・その後、就労ビザでまた２名雇用して随時、高齢者が辞めると就労ビザ雇用を紹介会社にお願いした。

・採用して機械を触らせるとすぐに使うことができ、（工科大学で機械を使っていたので）器用にプログラムを組んで機械をつかって使っていた。

・だんだんとベトナム人が増えていき紹介会社を使わずに社内のベトナム人の弟や友達をベトナムから来て貰えるようになり、紹介管理費用が要らなくなっていった。

外国人労働者国別表

図３　国籍別外国人労働者の割合



※円グラフの項目の順番は、
別表１の項目（国籍）の順番に

最初は言葉の壁や習慣の違いやなどがあり大変ですがそれよりも高度な人材を雇い入れることのメリットが大きいと思っています。円グラフにもありますが２年前で約１７０万人の外国人が日本で働いている状況です。その中でベトナム人が１番で４４万人働いています。日本にとって欠かせない人材になっています。

⑧ ベトナム人雇用～教育

・ベトナム人雇用で最初は言葉の壁や習慣などの違いがあり、加工品の上を歩いたり、キリコの清掃を十分にしないとか手を抜くことが多かったが、朝の朝礼で各自に品質目標や品質方針などをベトナム語で言ってもらい教育訓練をしている。

- 就労ビザは高度人材でベトナムの工科大学を出ている。高度な能力を持っている。ベトナム戦争で唯一アメリカに勝った国である。
- なかなか大変であるが少しずつ改善も見られ、外部の教育訓練機関に行ってもらったり（日本語検定、１名N2合格）また、国家試験（日本語が読み書きできる）なども受験させている。

⑨ 課　題

現在、円安のため以前にベトナムに送金していた金額の送金をしようとすると２割程度多い金額の日本円を送金しなければいけない状態で生活費を切り詰めて送っている。
研修生になるともっと厳しい状態で借入して日本に来ているため大変な状況である。今後、研修生や就労で日本に来る外国人の人は他の国に流出する人が多くなるのでと危惧している。

⑩ まとめ

外国人雇用に関して、なかなかどうしたらいいのか分からない面もあるが、雇ってみると日本の若者より勤勉で就労意欲があり、納期が迫ってくると土曜や日曜も自主的に働いてくれているので助かっている。
今後日本は少子化で就労人口が減っていくのは仕方のないことだと（国がもっと適切な政策をしないといけないのだが）思っている。

そうすると外国人を雇うことしか方策がない、そう思っているうちに当社の機械加工部門は工場長以下全員がベトナム人になってしまった。工場内はベトナム語だけになっており、コミュニケーションもスムーズである。
先月も入管に書類を出して就労ビザが下りたので来月には１名入社予定である。今後も当社はベトナム人を採用して行き、この業界で頑張るつもりである。

ご清聴ありがとうございました。